

草津白根山

○火山活動度レベル（平成 18 年 5 月）

1（静穏な火山活動）

○概況（平成 18 年 5 月）

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

○噴気の状況

逢ノ峰（湯釜の南約 1 km）に設置してある遠望カメラでは、湯釜火口縁を超える噴気は観測されませんでした（図 1）。



図 1 草津白根山 湯釜付近の状況（5 月 25 日、逢ノ峰遠望カメラによる）

○地震及び微動の発生状況

火山性地震の発生回数は 0～7 回と少なく、静穏に経過しました（図 2）。火山性微動は観測されませんでした。

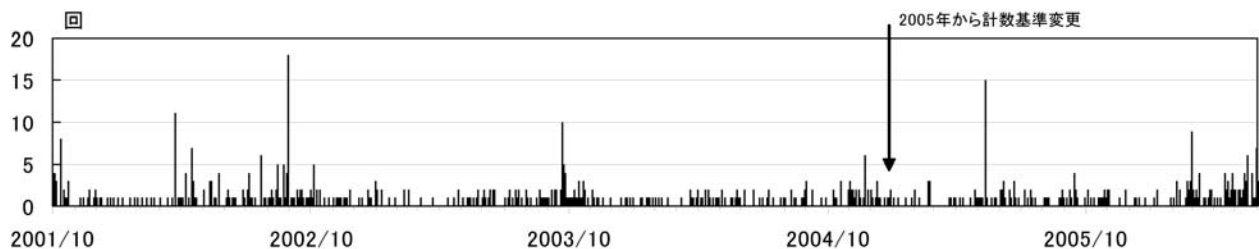


図 2 草津白根山 日別地震回数（2001 年 10 月 1 日～2006 年 5 月 31 日）

計数基準：2004 年までは A 点振幅 $0.05 \mu\text{m}$ 以上で S-P 時間 2 秒以内

2005 年以降は A 点振幅 0.1mkine 以上で S-P 時間 2 秒以内

（ただし、2004 年 5 月 19 日に草津白根山の北西約 10km 付近に発生した構造性地震は除外しています）

※この資料は気象庁のほか、東北大学、東京大学、京都大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータ等も利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

○熱の状況

全磁力連続観測¹⁾によると、火山活動によるとみられる変化はありませんでした（図3）。

1) 湯釜付近の北側観測点で全磁力値が増加(図3で上向き)、南側観測点で減少(図3で下向き)の変化がみられた場合には、地下での温度上昇があったと考えられます。

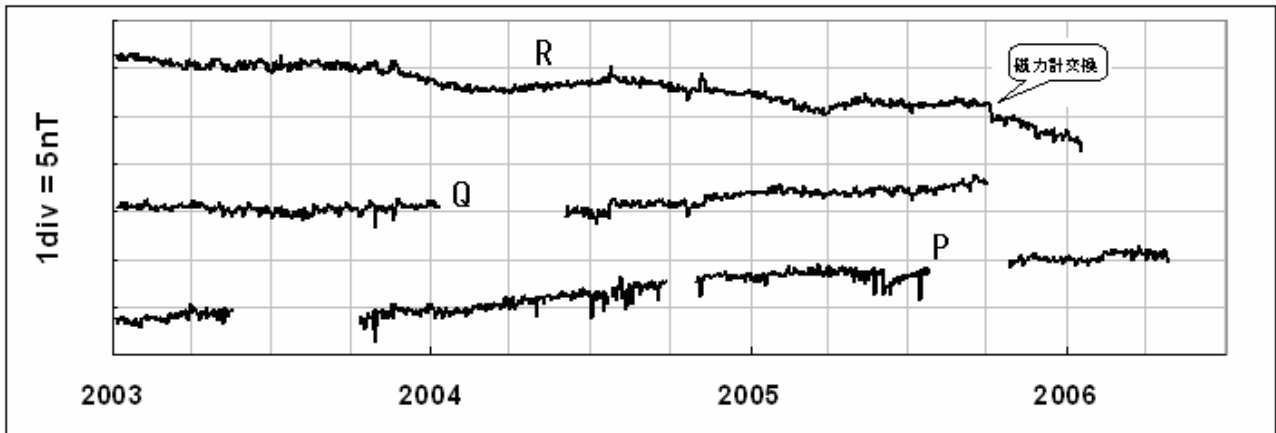


図3 草津白根山 全磁力連続観測の結果(2003年～2006年4月)

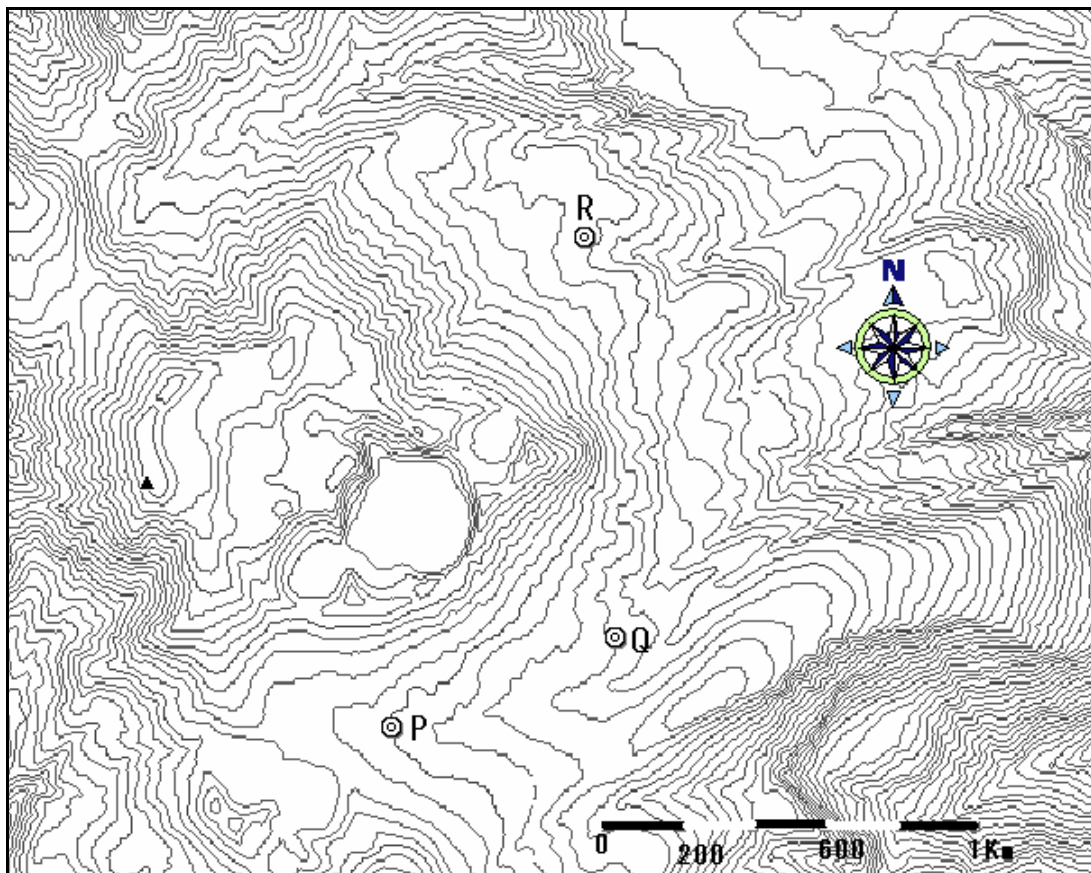


図4 草津白根山 全磁力観測点配置図

○地殻変動の状況

G P S 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした (図 5)。

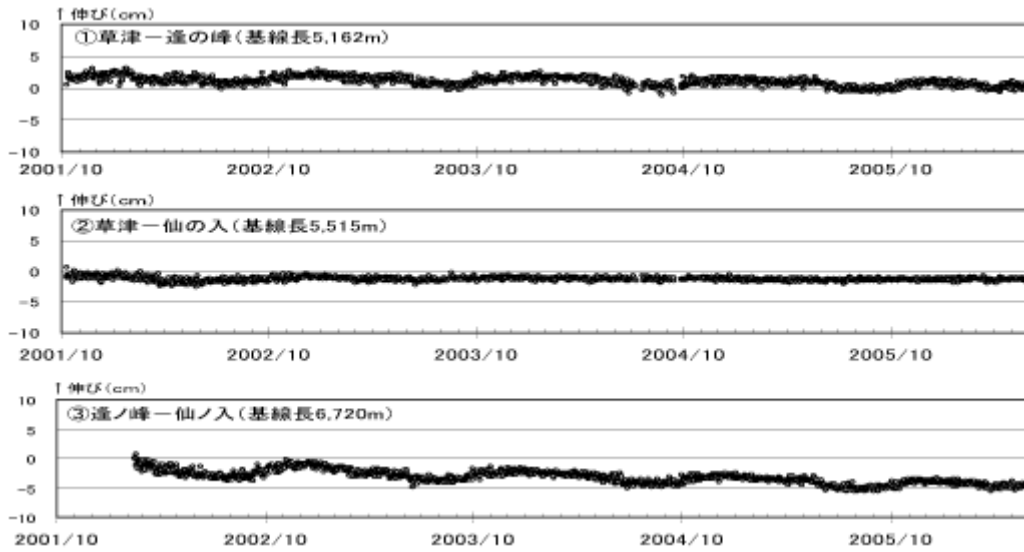


図 5 草津白根山 G P S 連続観測による基線長変化 (2001 年 10 月 1 日～2006 年 5 月 31 日)
基線長変化に見られる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。

○観測点情報

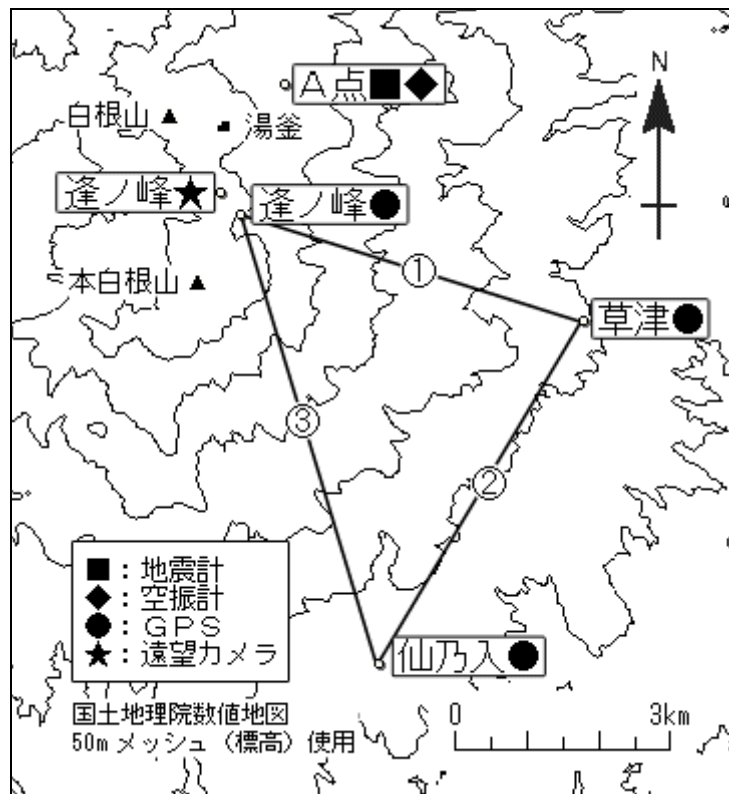


図 6 草津白根山 気象庁の観測点配置図 (小さな白丸は観測点位置を示しています)